

# 新しい議会の役職決まる

日田市議会  
臨時議会

## 物価高から暮らしをどう守るか

選挙後の初議会を5月16日に開会。議長に三苦誠氏(新世ひた)、副議長に松野勝美氏(公明)を選挙で決めました。このほか3つの常任委員会の議員構成など、新たな議会体制が決まりました。

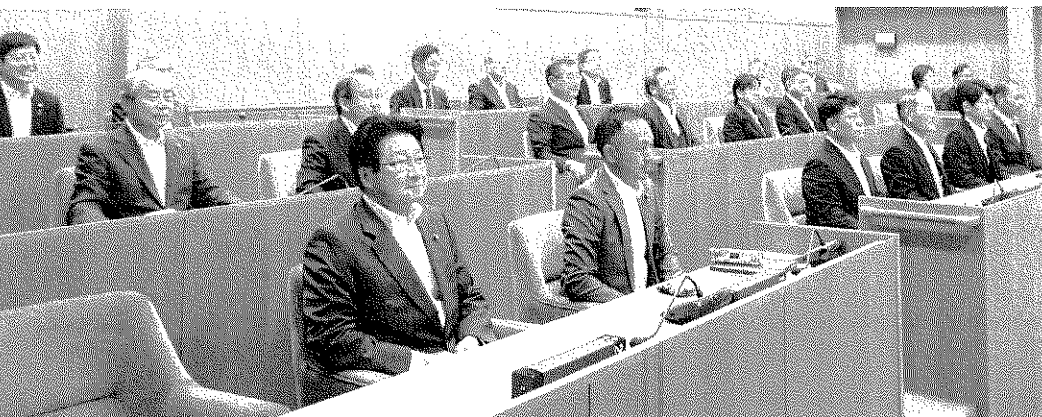
原田市長は、5月16日の臨時議会であいさつ。経済の活性化、少子化と人口減少、災害からの復旧復興など課題をあげ、「新たな市

議会と協力して市政をすすめていく」と述べました。

新たな議長となった三苦誠氏は「市民の福祉向上のため市議会が役割を果たし、公平中立の議会運営に努める」と抱負を述べました。

多くの市民は、異常な物価高で暮らしが大変です。物価高から市民の暮らしをどう守るか、市長と市議会に問われています。

6月9日から6月定例議会が始まります。日本共産党日田市議団(大谷敏彰、日隈知重)は「公約実現をめざし、6月議会にのぞむ」と語っています。選挙中からとりくんだ学校給食費無料の署名は、近く市長に手渡します。



▲ 選挙後の初議会にのぞむ議員 (16日、前列手前は三苦議長、その後ろは大谷市議)

- 議長 三苦 誠 氏
- 副議長 松野 勝美 氏
- 議会運営委員長 石橋 邦彦 氏
- 総務環境委員長 井上 正一郎 氏
- 教育福祉委員長 中島 章二 氏
- 産業建設委員長 坂本 茂 氏

# 75歳以上の医療保険引き上げ

参院本会議  
12日

## 倉林明子・参院議員 「命おびやかす」

75歳以上の医療保険料などを引き上げる健康保険法等の改定法案が12日の参院本会議で、自民、公明、国民の各党の賛成多数で可決、成立しました。日本共産党、立民、維新は反対。

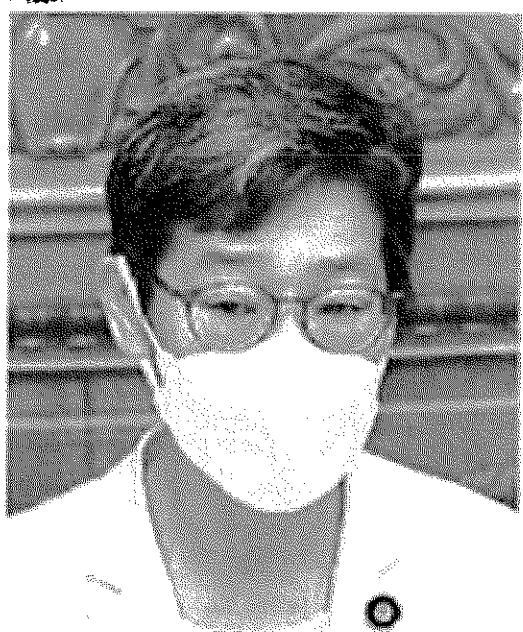
日本共産党の倉林明子議員が 担増を押しつけ、国の責任を後退討論に立ち、「全世代の国民に負 させるものだ」ときびしく批判しました。

ました。

この法律は、75歳以上の医療保険料を収入に応じて引き上げることや「出産一時金」の財源の一部を後期高齢者医療制度から負担する仕組みを新たに導入します。また、国民健康保険料水準の統一を推進し、国保料(税)の引き上げにつながるものです。

倉林氏は、負担増となる高齢者の年収は153万円以上だとし、「余裕などない」と強調。すでに医療・介護にかかる費用が家計を圧迫していると述べ、「過重な保険料を、これ以上引き上げることとは、命をおびやかすものであり、到底容認できない」と批判しました。(赤旗13日付け)

日隈市議は臨時議会(16日)で、大分県後期高齢者医療広域連合議会議員に選出されました。日隈市議は「75歳以上の医療保険料の負担増が、どれだけになるのか明らかにし、大分県に負担軽減を求めていく」と決意を語りました。



反対討論に立つ倉林明子議員